

平成30年度寿楽荘事業報告・決算報告（抜粋）

総括

平成30年度は厳しい事業年度だった。収入的には後述の稼働率により高いレベルを維持出来たが、介護も調理も働き手の不足は深刻な状況が続いている。負担の一極集中を回避するため、事務・医務職員等全職員が協力を行なうが、根本的な解決策は人員の補充であり、引き続き求人サイトや学校への働きかけを行なっていく。明るい材料は、昨年のEPAフィリピン人介護福祉士候補生に続き、インドネシア人技能実習生の受入れが予定されている点が挙げられる。但し技能実習生に関しては宗教・生活習慣や日本語レベルの問題もあり未知数の部分もある。

介護用品・調理器具といった高額物品の計画的な整備は、共同募金などを受けながら順次整備を行ってきた。改築後18年が経過するので優先順位を確認しながら今後も整備を進めていく。

利用者に関しては平均要介護度が4.2となった状況で稼働率が96.3%を残せたのは、各職種内・間及び委員会で円滑な業務遂行ができた結果と捉えている。今後も、安心・安全なサービスの提供に努めたい。

入所申込者の確保に関しては、在宅ケアマネージャーへの働きかけも行ってきたが、病院・福祉事務所等の紹介が大半を占めた。「西多摩特養ガイド」に関してはコストパフォーマンス面で再考も視野に経過をみたい。

職員に関しては、介護福祉士合格者1名、痰吸引資格者、認知症研修受講者など、個人面談時の本人希望のほか施設の長期的展望に沿った職員育成も計画的に行えた。

詳細は事業報告書をご一読ください。

財産目録		平成31年3月31日
資産・負債の内訳		寿楽荘
資産の部		***
1. 流動資産		***
	流動資産合計	436,353,572
2. 固定資産		***
	固定資産合計	1,285,942,411
	資産合計	1,722,295,983
負債の部		***
1. 流動負債		***
	流動負債合計	101,791,684
2. 固定負債		***
	固定負債合計	64,012,850
	負債合計	165,804,534
	差引純資産	1,556,491,449

拠点区分貸借対照表			平成31年3月31日
			寿楽荘会計
		借方	貸方
流動資産	436,353,572		
固定資産	1,285,942,411		
資産の部合計	1,722,295,983		
流動負債			101,791,684
固定負債			64,012,850
負債の部合計			165,804,534
基本金			62,081,323
国庫補助金等特別積立金			639,044,115
その他の積立金等			37,500,000
次期繰越活動収支差額			817,866,011
純財産の部			1,556,491,449
負債・純財産の部合計			1,722,295,983

拠点区分資金収支計算書			平成31年3月31日
(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日			寿楽荘会計
勘定科目		寿楽荘会計	
決算の状況	事業活動	事業活動収入計	870,983,430
		事業活動支出計	821,069,946
		事業活動資金収支差額 (-)	49,913,484
	施設整備その他活動	施設整備等収入計	1,750,000
		施設整備等支出計	45,587,109
		施設整備等資金収支差額 (-)	-43,837,109
	その他の活動	その他の活動収入計	28,961,590
		その他の活動支出計	32,844,748
		その他の活動資金収支差額 (-)	-3,883,158
		予備費 ()	0
当期資金収支差額合計 = + + -		2,193,217	
前期末支払資金残高		365,822,159	
当期末支払資金残高 (+)		368,015,376	

会計方式は平成24年6月に「新会計基準」へ移行しています。また、監査報告書はHPでご確認ください。